

# くまざんだいり

日本基督教団 豊橋東田教会

〒440-0055 愛知県豊橋市前畑町 112 ☎0532-54-3435

公式サイト <https://azumada.org/> 武井恵一牧師 080-3428-3200

2020年

6月号

6月16日発行

イラストは全て池谷陽子さんご提供

## 6月7日 聖霊降臨節第二主日礼拝説教

「人の子は安息日の主」武井 恵一牧師

ルカによる福音書6章1～5節 新約聖書111～112頁

ルカによる福音書6章1～5節

<sup>1</sup>ある安息日に、イエスが麦畑を歩いて行かれると、弟子たちは麦の穂を摘み、手でもんで食べた。<sup>2</sup>ファリサイ派のある人々が、「なぜ、安息日にはしてはならないことを、あなたたちはするのか」と言った。<sup>3</sup>イエスはお答えになった。「ダビデが自分も供の者たちも空腹だったときに何をしたか、読んだことがないのか。<sup>4</sup>神の家に入り、ただ祭司のほかにはだれも食べてはならない供えのパンを取って食べ、供の者たちにも与えたではないか。」<sup>5</sup>そして、彼らに言われた。「人の子は安息日の主である。」



今日の聖書の言葉は、主イエスと弟子たちが麦畑を歩いて行かれた状況から記された、言わばエピソードとも言える聖書の箇所です。日本列島の中部地区は、これから梅雨の季節に入ります。わたしたちの住む地域は、麦がどのくらい成長してるのか分かりませんが、縦長の日本列島でも南の方は、既に麦秋が始まっているかもしれません。

弟子たちが、「麦の穂を摘み、手でもんで食べた。」と聖書に記されています。麦畑の麦の穂を摘んで食べるなどということは、経験なされていない方が多いでしょう。でも、わたしにはそんな経験があります。

わたしは第二次大戦が終わりに近づいた頃、母の病状が悪化し、少しでも良い環境で療養しなければ、と群馬県安中市板鼻町に疎開しました。母の実家はかなり広い田畑を持つ農業と精米工場を営んでおり、戦争に影響されず療養できたからで、わたしも疎開児童として同行しました。

板鼻町の実家には、私たちだけではなく他の従弟たちも疎開し、賑やかな大家族の生活です。母・武井裕子は1945年7月18日に逝去し、わたしは小学校5年生まで板鼻町で生活しました。

板鼻町では、当時、菓子屋が一軒もなく、子どもはさつま芋や果物がおやつで、様々に工夫し、「麦の穂」は、貴重な「おやつ素」、実った穂をバラバラの実にして口に含み、柔らかく丁寧に



噛み、唾液は吐き捨てる。麦の実は潰されて塊になり、そのまま噛み続けると、少しずつ固形になりチューインガムのような柔らかい弾力性のあるお菓子？状態になり、子どもは大切なおやつとして食べました。

もし、乾燥する前の「麦の粒」が手に入れば、だれでも「麦チューインガムもどき」が作れます。ただし、噛んで出る唾液はいちいち吐き捨てなければなりません。汚い、みっともないを意識しては作れません。また、美味しいと味わわれる方は少数派。

弟子たちが、「麦の穂を摘み、手でもんで食べた。」ことを、ファリサイ派の人々が、「なぜ、安息日にしてはならないことを、あなたたちはするのか」と、とがめます。なぜなら、麦の穂を摘み、手でもむことは、労働とみなされるので、律法に違反している、と言い立てたのです。これは、出エジプト記20章十戒の言葉が根拠です。

#### 出エジプト記20章8～11節

<sup>8</sup>安息日を心に留め、これを聖別せよ。<sup>9</sup>六日の間働いて、何であれあなたの仕事をし、<sup>10</sup>七日目は、あなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。あなたも、息子も、娘も、男女の奴隷も、家畜も、あなたの町の門の中に寄留する人々も同様である。<sup>11</sup>六日の間に主は天と地と海とそこにあるすべてのものを造り、七日目に休まれたから、主は安息日を祝福して聖別されたのである。

十戒に、主の安息日には、「いかなる仕事をしはならない。」とあるので、ファリサイ派の言うことももっともだ、と思われた方もいるでしょう。安息日には、収穫、脱穀、ふるいがけ、等が禁止されていました。これら一連の律法を破り、罪を犯したのです。ところが、主イエスは、真っ向から、これを論破します。主イエスは、「ダビデとその従者たちが、空腹にいたたまれなくなった時、ダビデは、祭司しか食べてはいけない聖別されたパンを取って食べて、従者にも与えたではないか。」と、お答えになられました。サムエル記には次のように書かれています。

#### サムエル記上21章6節～7節

<sup>6</sup>ダビデは祭司に答えて言った。「いつものことですが、わたしが出陣するときには女を遠ざけています。従者たちは身を清めています。常の遠征でもそうですから、まして今日は、身を清めています。」<sup>7</sup>普通のパンがなかったので、祭司は聖別されたパンをダビデに与えた。パンを供え替える日で、焼きたてのパンに替えて主の御前から取り下げた、供えのパンしかなかった。

またマルコによる福音書2章27～28節には、次の様に書かれています。

#### マルコによる福音書2章27～28節

<sup>27</sup>そして更に言われた。「安息日は、人のために定められた。人が安息日のためにあるのではない。<sup>28</sup>だから、人の子は安息日の主でもある。」

主イエスはこの聖書の言葉を引用したのでファリサイ派の人々は反論することが出来ず、黙って引き下がるしかありませんでした。

そして、主イエスは、「人の子は安息日の主である。」と言われました。ここで言われた「人の子」は、主イエス・キリストを指しています。愛とあわれみの心をもった安息日の主なる主イエス・キリストこそ、愛によって、律法を判断することができるのです。イエス・キリストご自身が「安息日の主」であり、「安息日を、愛とあわれみの心をもって、主ご自身で理解し、判断する。そして愛をもって用いる」と、疑いの余地なくハッキリ言われました。

さらに、「人の子は安息日の主である。」と言う言葉の内実は、この聖書に記されているにとどまりません。世界の歴史に於て、また、現在の人間社会に於て、主イエス・キリストこそ「安息日の主である」宣言の礎であります。三位一体の神・主なるイエス・キリストのこの宣言が聖書に記され、世界中のすべての人間が、「安息日は、仕事を休んで、人間として安らかに過ごす日」ということが、大切にされています。

また、「安息日の主であるその方が、父なる神様に願い、祈り求めるならばかならず与えられる」ということを、真実としてわたしたちは、受

け止めています。言い換えれば、「人の子イエス・キリストは、安息日の主、人間世界に安息の日を与えられた神の子です」と、はっきり理解できます。

しかしながら、単に仕事を休む日が安息日というわけではありません。主の礼拝に招かれ、三位一体の神、主なるキリストは「愛」の存在だと覚える日です。私たちが信仰によって生かされ、愛と喜びと恵みを与えられ、「人間」としてこの世界に、宇宙に、存在するのは「天の父なる神様」によってです。「私たちが神様によって造られ、生かされている」ことを確信させていただく日です。主イエス・キリストが安息日の主であることを覚えるために、わたし達は、主の日の礼拝に招かれています。ユダヤ教では、安息日は、土曜日でその日に礼拝をしています。キリスト教では、キリストの復活の日を、主の日として、礼拝を捧げています。

主の日の礼拝に、顔を合わせ、単に、「生きている」のではなく「生かされている」ことを、わたしたちは「さいわい」と自覚し、お互いに喜び、お互いに感謝しましょう。お互いにできるだけ口に出して、「こんにちは」、「お元気ですか」、「ありがとう」、「赦してください」と、言い交すような小さなことによって、日々、芽からゆっくりと成長し、喜びに至る成長がなされることでしょう。

わたしたちは毎週、安息日の主である、主イエス・キリストの教会に招かれ主の日の礼拝を守っています。今年は、コロナウイルスの感染被害があり、日本基督教団のかんりの教会で、礼拝の在り方を工夫し、通常の礼拝と違う礼拝を守る、など、様々な動きが現れ、現在も続いています。豊橋東田教会は、そのような中、主日礼拝は、今までのまま守り続けることができました。そればかりか、予定されていた夕礼拝も、予定通り行うことが出来ました。豊橋東田教会が、少しずつ成長しつつあることは、神様に愛され、神様の喜びの中にいる、主なるイエス・キリストの教会と感謝せざるをえません。

新型コロナウイルスの流行はまだ終息していません。しかし、わたしたち豊橋東田教会は、三位一体の神様に生かされ、喜びの中を進む教会です。安息日の主イエス・キリストによって進みます。

祈り 讚美歌(21) 475番 「あめなるよろこび」

聖書の言葉はすべて以下から引用しています。  
 聖書 新共同訳：  
 (c) 共同訳聖書実行委員会  
 Executive Committee of The Common Bible Translation  
 (c) 日本聖書協会  
 Japan Bible Society, Tokyo 1987, 1988

## 新型コロナウイルスへの対応

休止していた聖餐式や木曜会も再開されましたが、「新しい生活様式」の実践が求められていますので当分の間、下記対策を継続します。

### 礼拝出席時の注意

飛沫による感染を防止するため、礼拝出席時にはマスクを着用して下さい。

不織布のマスクも入手出来るようになってきましたが自作の布マスクで構いません。

市販の一般的な花粉(2~4 $\mu$ m)に対応したマスクではウイルス(0.02~0.1 $\mu$ m)は防げません。

咳などで出る飛沫(5 $\mu$ m)拡散には有効ですが、体調が悪い場合には自宅で休んで下さい。

飛沫感染を防ぐために礼拝堂内ではマスクを着用すると共に互いに離れて着席して下さい。

### お願い

この様な状況下で働いておられる医療従事者や介護、保育、生活に必要な様々な業務についておられる方を神様が守って下さることを祈って下さい。